

地域と共に育てる「せいめいっ子」

福井市清明小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	2回
地域及び家庭への学校公開	10回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	28人
授業ボランティア（含む：低ボラ）	60人
登下校支援ボランティア	20人
その他（ ）	
	人

(3) 特色ある活動

ふるさと教育「開校30周年事業」

本校は、昭和57年に16学級543人の児童で開校し、「人間性豊かな 心身ともに健康な児童の育成」を教育目標に掲げて、現在に至っている。また、教育に対して熱心な保護者や地域の人達、30年の歴史を刻む中での卒業生の応援のおかげで、現在の土台が築かれてきました。その間ふるさと清明に残る史蹟を調べ、立て看板を作って地域の人と設置し、毎年の全校集会で尋ね歩きしてきた。

開校30周年記念事業を行うに先立ち、前年度に準備委員会を設置し、プレイベントとして1月30日に「清明小冬まつり」を開催した。これに合わせて、記念スローガンを5・6年生に募集したところ「清明は清く明るく30年 ありがとう みんな笑顔で30年」という心のこもった言葉が選ばれました。児童会の目標も、校内体育大会のめあても、このスローガンの精神を受け継ぎ、感謝の気持ちと向上心が窺えるものとなり、全校一丸となって一生懸命に取り組むことができた。

式典での児童挨拶では、生活科や総合的な学習にお世話になった地域の人達との活動をふりかえり「この清明小学校がきれいで美しい学校、みんなが仲のよい学校として続いていくことを願います」「すばらしい環境と立派な伝統を築いていただいた方々に心からお礼申し上げます」と述べた。また、全校児童と教職員、実行委員による「清き心に花が咲き 明るい笑顔に永久の虹」と題した大きな手形絵を作成した。クライマックスには参加者全員で、地域の愛唱歌「We Love 清明」が歌われ、児童達の清らかで明るい歌声が会場内に響きわたる、感動的な締めくくりとなった。



前年度に準備委員会、今年度には実行委員会を立ち上げ準備を進めてきた。準備を進めていくなかで学校と保護者、地域の人達のふるさとへの愛着心が再確認でき、お互いの信頼関係が築かれた。その思いは児童に伝わり何事も精一杯取り組む、思いやりのある児童が増えた。